

第3回 SPARC Japanセミナー 2016

科学的知識創成の新たな標準基盤へ向けて ：オープンサイエンス再考

Future Standard Infrastructure Supporting Creation of Scientific Knowledge
： Reconsidering Open Science

2017年2月14日（火） 10：30-17：20

国立情報学研究所 12階会議室

登壇者

- Ron Dekker
(European Commission (DG Research & Innovation))
- 北本 朝展 (国立情報学研究所)
- 小賀坂 康志 (科学技術振興機構)
- 小野寺 千栄 (物質・材料研究機構)
- 小野 雅史
(東京大学地球観測データ統合連携研究機構)
- 大向 一輝 (国立情報学研究所)
+ 平成28年度学術情報システム総合ワーク
ショップ受講者
- 尾城 孝一 (東京大学附属図書館)

今年度のSPARC Japanセミナーでは、年間テーマの「オープンサイエンス時代の文献とデータの流通：科学的知識創成の新たな標準基盤へ向けて」に対し、第1回セミナー「オープンアクセスへの道」では、グリーンオープンアクセスとゴールドオープンアクセスの関係性や担うべき役割について議論がなされ、国内研究者のAPC支払額の把握とSCOAP³モデル発展の必要性などが確認された。

第2回セミナー「研究データオープン化推進に向けて：インセンティブとデータマネジメント」では、データ・サイテーション、データ・ジャーナル、データ・オーナーシップなど研究者へのインセンティブのあり方や、それを支える研究データ管理の具体的方策（オープン化にかかるコストとのバランス、研究データ管理に対する報酬等）、などが議論された。

第3回セミナーでは、上記を受けて、一年間のSPARC Japanセミナーを総括し、オープンサイエンスを「しなければならないこと」「すべきこと」「したほうが利益があること」「せざるを得ないこと」など多角的に再考することで、オープンサイエンスの先にある科学的知識創成の新たな標準基盤について考えてみたい。

主催：SPARC Japan (国立情報学研究所)



プログラムおよび講演者 (予定)

10 : 30- 10 : 35	開会挨拶／概要説明	梶原 茂寿 (北海道大学附属図書館)
10 : 35- 11 : 35	ヨーロッパにみるオープンサイエンスの状況	Ron Dekker (European Commission (DG Research & Innovation))
11 : 35- 12 : 15	ディープラーニングとオープンサイエンス ～研究の爆速化が引き起こす摩擦なき情報流通へのシフト～	北本 朝展 (国立情報学研究所)
12 : 15-13 : 15 休憩		
13 : 15- 13 : 45	JSTにおけるオープンサイエンスへの対応 (DMP導入試行をはじめとして)	小賀坂 康志 (科学技術振興機構)
13 : 45- 14 : 15	オープンサイエンスにおけるライセンス	小野寺 千栄 (物質・材料研究機構)
14 : 15-14 : 25 休憩		
14 : 25- 14 : 55	地球環境情報分野における研究データ共有に関する 意識調査：研究現場の実態	小野 雅史 (東京大学地球観測データ統融合 連携研究機構)
14 : 55- 15 : 45	研究データを用いたサービスの調査・企画	大向 一輝 (国立情報学研究所) + 平成28年度学術情報システム 総合ワークショップ受講者
15 : 45- 15 : 55	RDMトレーニングツールの紹介	尾城 孝一 (東京大学附属図書館)
15 : 55-16 : 15 休憩		
16 : 15- 17 : 15	パネルディスカッション :科学的知識創成の新たな標準基盤へ向けて パネリスト : Ron Dekker,北本 朝展,小賀坂 康志,小野寺 千栄,小野 雅史,大向 一輝 モデレーター : 林 和弘 (科学技術・学術政策研究所 / SPARC JapanセミナーWG主査)	
17 : 15- 17 : 20	閉会挨拶	

参加費 : 無料

※ 講演タイトルは変更の可能性があります。

参加申込 : 下記URLよりお申込み下さい

<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/>

申込期限 : 2017年2月10日 (金)

お問合せ先 : 国立情報学研究所 SPARC担当

E-mail : co_sparc_all@nii.ac.jp

FAX : 03-4212-2375

